

第21回都市経営セミナー

『文化芸術ガバナンスと公民連携』

日時	2019年8月5日(月) 13:30~17:00
会場	全国都市会館2階 大ホール
主催	公益財団法人 日本都市センター
後援	全国市長会 公益社団法人 全国市有物件災害共済会 一般財団法人 地域創造

目次

[I] 講演資料

・文化芸術ガバナンスにおける公民連携

東京大学大学院法学政治学研究科教授 金井 利之.....3

[II] 事例報告資料

・豊島区の未来と夢 -としま新時代へ-

豊島区長 高野 之夫.....9

※衛館長の講演資料につきましては、別途、「ala まち元気プロジェクトレポート」および

「年間公演冊子 ala ブロッチャー」をお配りしております。

第 21 回都市経営セミナー

文化芸術ガバナンスと公民連携

主催	公益財団法人 日本都市センター
後援	全国市長会／公益社団法人 全国市有物件災害共済会／一般財団法人 地域創造
日時	2019年8月5日（月）13:30～17:00
会場	全国都市会館 2階 大ホール（東京都千代田区平河町 2-4-2）
参加費	無料
趣旨	

文化・芸術振興は本来的に行政と外部（民間・地域・住民）との連携が不可欠な政策分野であるため、文化施設の管理運営のみならず、文化・芸術振興事業の推進といった場面でも、民間事業者やNPO、地域コミュニティなどとの連携がより図られるようになっていきます。文化・芸術振興分野における多様な公民連携の広がり、住民ニーズの的確な把握と協働、行政による適切なガバナンス、公正性・透明性の確保等のあり方などの課題を顕在化させるとともに、公共サービスの提供において都市自治体が担うべき役割を改めて問いかけます。

そこで、本セミナーでは、文化・芸術分野における公民連携に焦点を当て、学識経験者による講演と実務者による事例報告のほか、パネルディスカッションによって議論を深めることで、これからの文化・芸術振興および公民連携のあり方を展望します。

プログラム

13:30	開会	
13:35～14:15 (40分)	講演①	衛 紀生 可児市文化創造センター館長兼劇場総監督
14:15～14:55 (40分)	講演②	金井 利之 東京大学大学院法学政治学研究科教授
14:55～15:25 (30分)	事例報告	高野 之夫 豊島区長
15:25～15:40 (15分)	休憩	
15:40～16:55 (75分)	パネル ディスカ ッション	(コーディネーター) 大杉 寛 首都大学東京法学部教授 (パネリスト) 衛 紀生 可児市文化創造センター館長兼劇場総監督 金井 利之 東京大学大学院法学政治学研究科教授 高野 之夫 豊島区長
17:00	閉会	

[I] 講演資料

文化芸術ガバナンスにおける公民連携

東京大学大学院法学政治学研究科教授

金井 利之

2019年8月5日(月)
13:30~17:00
全国都市会館2階大ホール

第21回都市経営セミナー
文化芸術ガバナンスと公民連携
主催：公益財団法人 日本都市センター

東京大学法学部
教授 金井利之

文化芸術ガバナンスにおける公民連携

はじめに

文化・芸術は、本来的に民間が行う活動

そもそも、行政は文化・芸術に関与すべきなのか？

例) 伝統芸能 民間に委ねたままではいずれ消滅する、伝統芸能の継承には支援がいる

vs 民間に相手にされないのであれば、それは消滅する運命にある

伝統とは、民間で継承される活動をいうのであって、継承されないものは伝統ではない

vs 民間に委ねて自然に消滅するものを保存することこそ、行政の仕事

逆に民間で活動しているものに支援は必要ない？

1. 分配問題

民間活動は、市場セクターか非営利セクターによる

(1) 市場セクター

① カネの論理

結局は、資本(カネ)の論理

カネのある人は文化芸術を楽しめる、カネのない人は楽しめない 例) 高額公演

カネのない人も、数多く集まれば、結果として享受も有り得る 例) 大衆芸能

但し、供給量が限られる場合には、先着順・抽選などの別の論理が作用することもある

とはいえ、通常は予め高値が付く、買い占め、ダフ屋、チケット転売問題

② 不可欠サービス

文化芸術サービスが、カネ(所得・資産)の多寡で住民を排除すべきでない→行政の関与
いかなる文化芸術サービスを保障すべきか？ その決定は正当性を持ちうるか？

特に、指定管理者・キュレーターなどの創意工夫に委ねたとき、安価で保障すべき内容の決定をできるか

→ 専門家・専門性・ノウハウ(民間でも行政でも一緒)による正当性に依存

勿論、準市場の論理で、集客・稼働率で判断することもできる

個々の文化芸術のメニューを行政は決定できないとしても、包括的な分量(助成金額)

は決定できる？

(2) 非営利セクター

① 有志の論理

非営利セクターの活動を可能とする資源調達によりけり 誰が負担するのか？

篤志家・パトロンの寄付

市場経済で蓄財した資産家・企業が、社会的責任に基づいて、非市場的に提供
結果的には、住民

多くの人の資源提供 例) お祭り

② 不可欠サービス

市場の論理でなければ、カネの多寡で住民が享受できなくなることはない

民間非営利主催者による別の排除の論理は有り得る

主催者の勝手な意思によって文化芸術サービスは選択

その中身は、不可欠サービスであるという保障は全くない

2. 集約問題

(1) 行政というパトロン

① 体力

文化芸術活動にはある程度の資源を集約する規模が必要

現代では民間の巨大パトロンの代わりに、行政がパトロンとして提供する

封建制・貴族制・君主制の時代には、領主・貴族・君主がパトロン 例) 不昧公

金ピカ資本主義の時代には、大資本家・富豪・その未亡人

例) ビル＝ゲイツ、大原美術館、前沢＝ZOOタウン？

組織資本主義の時代には大企業

例) サントリー文化財団、トヨタ財団、球団、囲碁将棋タイトル戦主催

文化芸術サービスが、有志の多寡で不安定・不確実であってはならない→行政の関与

② 正当性問題

住民から強制徴収する税金で成立する行政が、提供してよい相手方は何か？

それをどのように政党に決定することは可能なのか

行政の決定とは、反対住民の意思を押しきって、特定文化芸術を支援すること
本来、分化とは民間の自発的な活動である以上、行政は決定すべきではない

→行政は資金提供だけして、用途は民間の自律的決定に委ねるべき？

では、民間の決定主体は誰か？何故、正当性を持つのか

③ 評価・参加・議員

行政評価・住民参加などによる民主的統制で決定を正当化できるか？

1) 声の大きな偏向した一部住民の声の可能性

2) 多数派専制、平均的世論、ポピュリズム。偏見動員・ヘイト・差別の可能性

むしろ、2)は一部イデオロギー的議員が関わりだしたときに起きやすい？
多様性・多文化共生的な民主的正当性とはなにか

(2)行政における邪心

①下半身的邪心

行政は文化芸術そのものではなく、総合的な政策判断をする、政策目的の混合
経済政策の下僕化

例)経済成長のための文化芸術

創造都市論、クールジャパン、アニメ・オタク、Kポップ vs Jポップ

例)観光戦略のための世界遺産登録 フジヤマ・ゲイシャ、舞妓・お茶や

例)経済成長のためのオリンピック・万博招致論

②上半身的邪心

治安・安全保障・軍事の下僕化 例)李香蘭、例)日米安保闘争とプロ野球

思想政策の下僕化：ナショナリズム・国威発揚・思想統制・愚民政策になる恐れ

特に、経済で分配する価値がなくなると、イデオロギー・憎悪を配分・煽動

例)トランプ現象、捕鯨問題、嫌韓・反中

③持ちつ持たれつ

また、民間文化芸術活動も、為政者との良好な関係があると有利という下心

興業・芸能は反社会勢力との関係も良好な方が有利である面(切っても切れない)

行政としては、連携相手の文化芸術活動が、反社会的勢力だと厄介

(3)文化芸術行政の政治的中立性の問題

①日本的「政治的中立性」

A：政治・政策を触れない＝権力者を不問とする偏向的な文化芸術

B：為政者に意向に異を唱えないこと＝政治的偏向性

②広義の政治的中立性

C：為政者の意向に関わらない(為政者の意向に、一致しても。異を唱えてもいい)

現象として、前者に為政者が苦情を言わない、後者が確保されるかが鍵

また、結果として、一致する物ばかりだと、実質的には政治的偏向性になる

例)吉本興業劇場に特定党派の政治家のみが参加

D：権力の意向に反する文化芸術を行政が保護する

結果的に政治的偏向性があるように、為政者側・権力側からは見える

E：世論の平均的意向(多数派意向ではない)にバランスよく配慮

政治的に尖った文化芸術が抑圧、結局、つまらない文化、①に近くなる

例)歌舞伎・落語などは、本来は公儀と対立・嘲笑する文化だったはず

両論併記的文化

以上

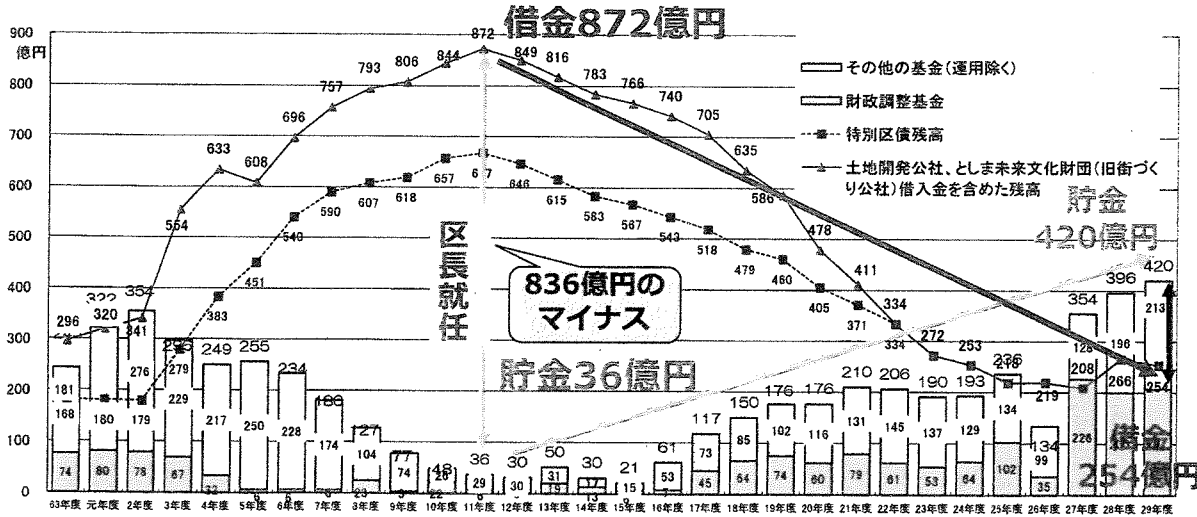
〔Ⅱ〕 事例報告資料

豊島区の未来と夢 ーとしま新時代へー

豊島区長

高野 之夫

財政破綻のピンチからの脱却



	平成12年度	平成20年度		平成21年度決算実績	平成29年度決算実績
職員数	2,899人	1,970人	人口	24.8万人	29万人
人件費	282億円	219億円	区民一人当たり	借金33.6万円	貯金5.7万円
人件費比率	32.6%	19.0%	経常収支比率	99.5%	79.8%
			公債費比率	14.0%	3.6%

平成11年
財政破綻寸前

徹底した行財政改革
○人件費削減
○施設の統廃合
○事業の見直し

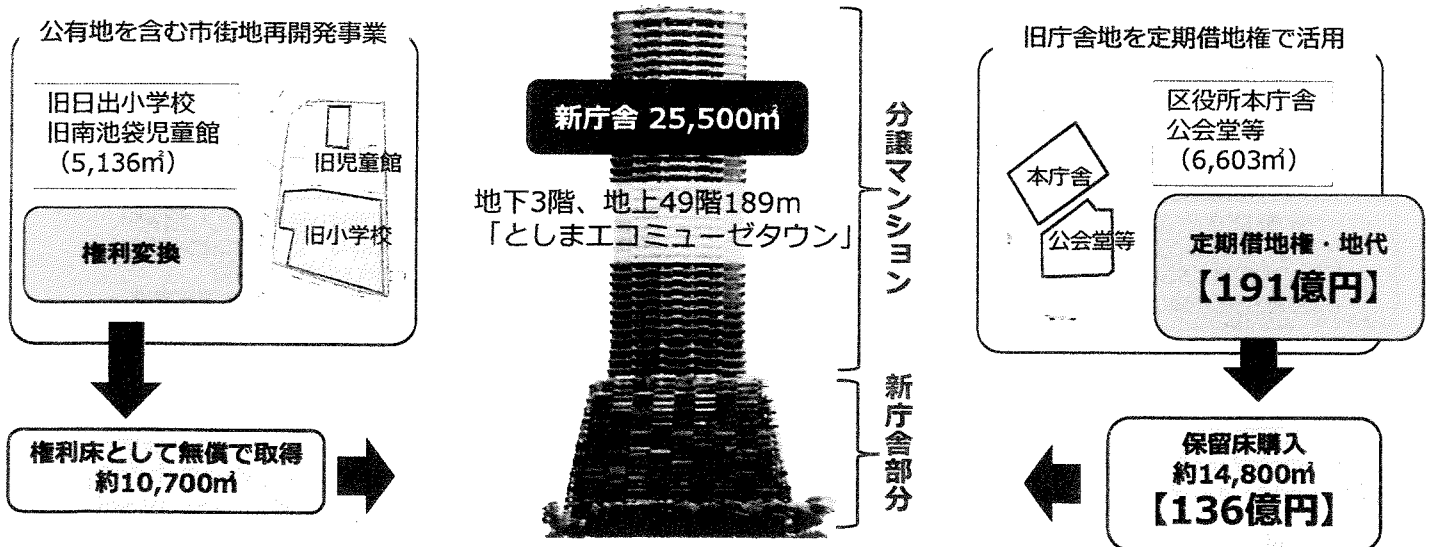
25年度決算で
23年ぶりに貯金が
借金を上回る

29年度決算では
160億円貯金が
借金を上回る

財政健全化

まちを大きく変えた「新庁舎建設」

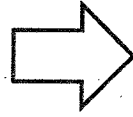
資産活用により「実質ゼロ円」で
税金を使わず庁舎を建てた日本初の事例



都市消滅のピンチからの脱却

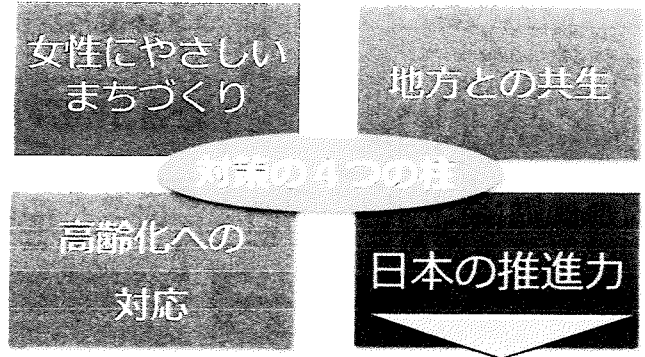
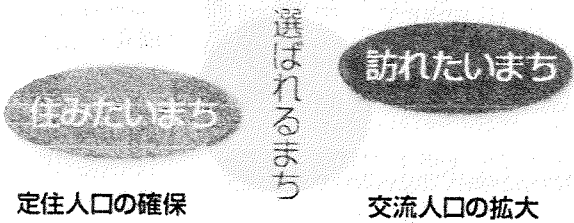
平成26年5月8日
日本創成会議による発表
23区で唯一「消滅可能性都市」

全国の1,718自治体のうち、
896の自治体が「消滅可能性都市」に



ピンチをチャンスに！
豊島区が4つの柱で
人口減少社会へ挑戦

これからの豊島区のまちづくり
個性と存在感を発揮する「住みたい、訪れたい」まちへ



世界を視野に置いたまちづくりの展開へ
国際アート・カルチャー都市としま

国際アート・カルチャー都市構想

国際アート・カルチャー都市構想が目指すもの

文化を基軸にしたまちづくり、
国内外から人が集まり交流する文化都市へ

豊島区が明確に打ち出した将来像

まち全体が舞台の誰もが主役になれる劇場都市



実現戦略「3つの柱」

文化戦略

多様な文化の融合・創造へ

- ・マンガ・アニメの聖地としての魅力を向上
- ・ハレザ池袋など文化活動拠点の整備
- ・伝統的な文化行事の継承と発展 等

国際戦略

世界に向け発信・受入整備へ

- ・「東アジア文化都市」による文化交流事業や、国際的な文化プログラムの展開
- ・アニメ・マンガ文化の海外への情報発信
- ・「豊島区アフター・ザ・シアター」の展開 等

空間戦略

人間優先の都市空間へ

- ・文化と生活・産業が創発するまちづくり
- ・公民連携による、道路・公園や区有地等の活用、公園を核にしたまちづくり
- ・駅からぎわいが広がり、歩いて楽しめるまちづくり 等

国際アート・カルチャー都市構想の3本の矢

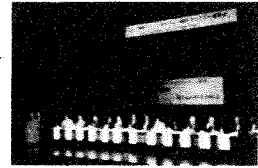


「まち全体が舞台のだれもが主役になれる劇場都市」へ

アート・カルチャー都市 プロデューサー

文化芸術の最前線で活躍する11名のプロデューサーに、行政にはない豊かで自由な発想のアドバイスをもらい、2015年3月、都市構想を策定。

11名



アート・カルチャー都市 懇話会

元文化庁長官の近藤誠一氏を会長に、文化芸術のトップリーダーをはじめとする委員からの答申を受け、2016年6月、都市構想を具体化するための実現構想を策定。

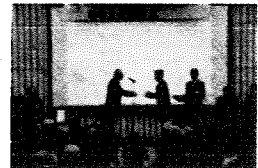
30名



アート・カルチャー都市 特命大使

都市構想に賛同し、国際アート・カルチャーの裾野を広げる活動の担い手。2018年学生特命大使も新設。

1478名



国際アート・カルチャー都市へ

次々に誕生する 22のビッグプロジェクト

2020年の夏までに
劇場都市の舞台が完成

2019

2020

2019.11 OPEN

豊島区が変わる、池袋が変わる。
22 PROJECTS

「東アジア文化都市2019豊島」を記念した、22のビッグプロジェクトが同時に発覚へ。

かつてないほど
ダイナミックに実現を遂げ
国際アート・カルチャー都市として
大きく前進します

2020.7 GRAND OPEN

Hareza (ハレザ) 池袋 (旧庁舎跡地活用事業)

2020年7月
グランドオープン



メインカルチャーとサブカルチャーが融合する世界に類を見ない拠点

区 区民センター、中池袋公園、周辺道路の整備芸術文化劇場を買取り

民間 ハレザタワーと新ホール棟の整備



シネマコンプレックス
TOHOシネマズ(株)による
10スクリーンの
大規模シネマコンプレックス

ライブ劇場
「harevutai(ハレヴタイ)」
(株)ポニーキャニオン運営
未来型ライブ劇場

ハレスタ
(株)ドワンゴが運営
ネットとリアルが融合して
サブカルチャーを発信

公園が街を変える！

4公園を合計30,000㎡の劇場空間に。年間を通じて四季を感じるイベントを実施



東アジア文化都市2019豊島

日中韓の3か国から、毎年1都市選定
1年間、さまざまな文化芸術イベントを通じて文化交流を図る国家的プロジェクト

横浜市（2014年）、新潟市（2015年）、
奈良市（2016年）、京都市（2017年）、金沢市（2018年）に続き

豊島区が6番目の国内都市に！29万都市からの挑戦！

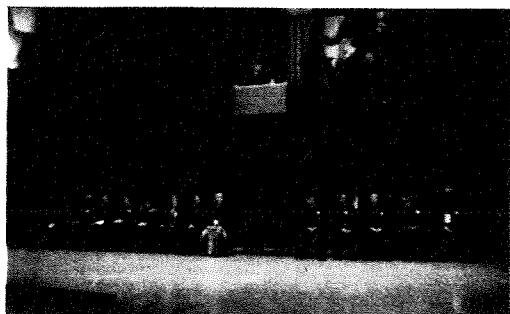


	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (H31)
日本						
	横浜市	新潟市	奈良市	京都市	横浜市	豊島区
中国	泉州市	青島市	寧波市	長沙市	ハルビン市	西安市
韓国	光州広域市	清州市	済州特別自治道	大邱広域市	釜山広域市	仁川広域市

21

東アジア文化都市2019 3都市の開幕

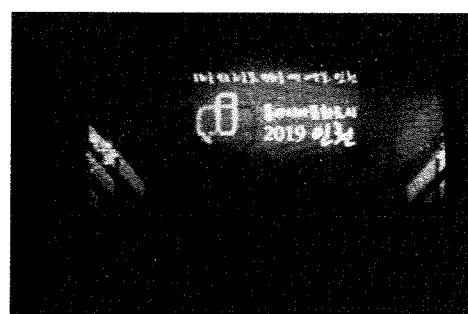
各国の要人が多数出席し、
文化都市としての特徴を前面に打ち出した式典



平成31年2月1日
東アジア文化都市2019豊島
盛大に開幕！



3月27日
きらびやかな光につつまれ
西安市開幕式典開催



4月26日
荘厳な雰囲気醸し出す
仁川広域市開幕式典

12

区民全員参加で展開

区民全員が作り手・鑑賞者として参加できるよう、事業公募や広報連携を実施

舞台芸術



祭事・芸能

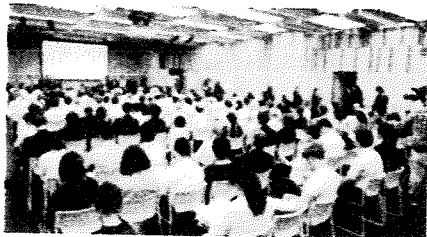


マンガ・アニメ

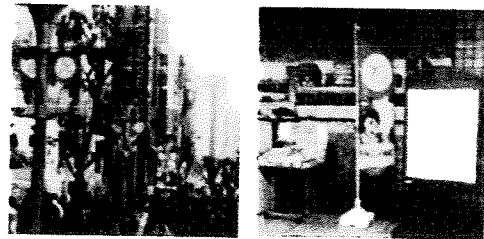


Photo: 赤坂久美

ILLUSTRATION: 久野遥子
東アジア文化都市2019豊島プロモーション映像より



実行委員会、推進協議会を開き、区民団体と連携



広報連携の様子

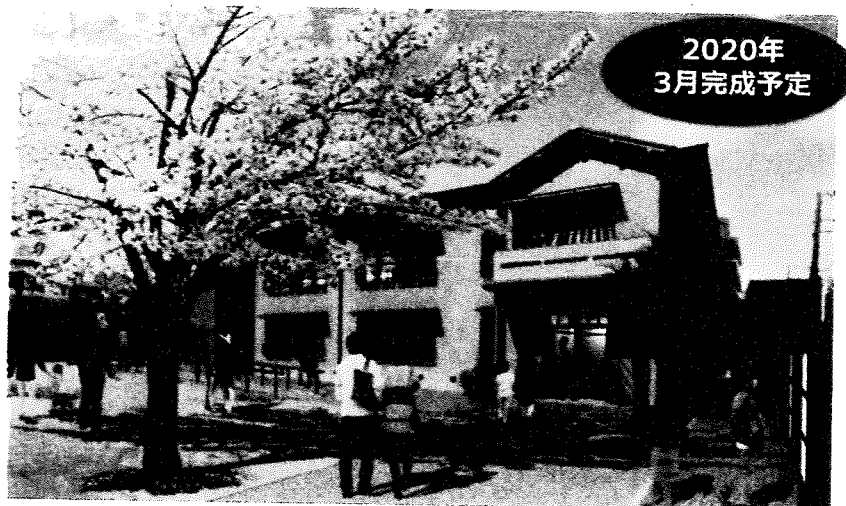
33

マンガの聖地誕生

トキワ荘の魂が時を超えてよみがえる
完成を待ちわびる多くの個人法人のお気持ちで、3億3千万円を超える寄附に！



トキワ荘の交番も出現！



(仮称) マンガの聖地としまミュージアム

14

マンガ・アニメを世界に発信！



©豊島区 ©アニメイト



©yura ©AGF2019

各種イベントにて連携してきた区内企業・区民団体の皆様と
新たに池袋アニメタウンフェスティバルも計画中

15

としま新時代へ！

世界を視野に、選ばれるまちへ。

豊島区の将来像を区民に示すことで、区民に夢・目標を。

「国際アート・カルチャー都市」

100年に一度という大きな転換点を迎える豊島区。

未来の世代に、有形・無形の価値を伝えるレガシー。

池袋西口公園を含む4つの公園、Hareza池袋をはじめ、様々なプロジェクトが連動し、
文化によってダイナミックに、エキサイティングにまちが生まれ変わります。

16

**私の文化によるまちづくりは
夢が大きな力になっています**

いま その夢が少しずつ姿を現してまいりました

**その姿が
区民の皆さんにとって未来への希望となり
明日を創り出す「としまの地域力」へ
繋がっていきます**

第21回 都市経営セミナー 資料集

2019年8月

公益財団法人日本都市センター

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-1

TEL 03(5216)8771

URL <http://www.toshi.or.jp>